

旭川市の研究活動

研究法制部長 旭川市立大有小学校
校長 川 島 政 吉

1. はじめに

旭川市小学校長会は、会員56名が吉崎隆会長を中心に「次代を展望し学校改善を確かに実現する校長会」を大目標に掲げ、心豊かでたくましく生きる児童を育成する創意と活力のある、学校経営の推進に努めてきた。校長の職能向上を目指した研修活動を通して本校長会の学校経営部・研究法制部・調査広報部・組織厚生部の4部と8つの地区校長会を本校長会を支える両輪としながら旭川市中学校長会及び上川管内校長会と連携を深め、共通した教育課題解決のため、本会の組織力を強化してきた。



2. 研究計画

(1) 基本方針

平成26年度の旭川市小学校長会活動方針と重点及び前年度の活動の成果と課題を踏まえて、研修、文教、法規に関する研究活動と事業を推進する。

(2) 研究の方向性

【大目標】 「次代を展望し 学校改善を 確かに実現する校長会」

(3) 研究の重点

- ① 心豊かでたくましく生きる児童を育成する創意と活力ある学校経営の推進
- ② 信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進
- ③ 会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生の実施

(4) 研究の方法

- ① 各部（学校経営部、研究法制部、調査広報部、組織厚生部）に分けて会務を分掌する。
- ② 各地区校長会（中央、東部、南部、西部、北部、新永、神居、神楽）をおき、地区ごとの学校経営に関する情報を交換し、各種課題について研究、協議する。

3. 研究活動

(1) 地区校長会における研究・研修活動

- ① 定期的（月1回）に市内8つの地区ごとに研究・研修計画に沿った校長研修会を開催し、各部の情報交流や今日的な教育課題について協議し、研修を深めた。
- ② 本市校長会の重点を受けた各学校の経営上の課題解決に向けた取組について情報を交流し、意見交換を行ってきた。

(2) 上川管内公立小・中学校長教育研究大会開催

- ① 主 催 上川管内校長会（主管）・旭川市小学校長会・旭川市中学校長会
- ② 期日会場 平成26年8月6日(水)、大雪クリスタルホール、神楽公民館

- ③ 分科会 第9次3ヶ年計画2年次の研究主題に沿って6分科会（小4・中2）を構成し、提言を基に協議を行った。

④ 活動概要

午前の部は、上川教育局長 小野寺一郎氏による「着実な実践に向けた学校経営」についての講演、午後の部は、小学校が4つの分科会に分かれ、各主題に応じた提言を基に、活発な研究協議を行った。東光小鐘ヶ江校長、北光小瀬尾校長、青雲小菱山校長、聖和小中谷校長が各分科会でそれぞれ提言を行った。

(3) 旭川市小・中学校長法制研修会開催

- ① 主 催 旭川市小学校長会 旭川市中学校長会（主管）

- ② 期日会場 平成26年8月7日（木）、神楽公民館

③ 講師・研修課題

【学校運営関係】・・・上川教育局企画総務課長 齋藤 順二 氏

ア 勤務実績に基づく昇給制度の運用について

イ 改正上川管内人事異動要項と広域人事の成果と課題と展望について

【学習指導関係】・・・上川教育局教育支援課長 永澤 篤 氏

ア 学力・体力向上の今後の取組について

イ 新たな教育の動向について

【旭川市教育委員会関係】・・・旭川市教育委員会学校教育部次長 金子 圭一 氏

ア 旭川市の教育の現状と課題について

④ 概 要

全会員からのアンケートによるニーズに応じた研修課題を設定することができた。講師の方々から、研修課題に沿って時宜を得た丁寧な説明を受け、研修を深めることができた。

(4) 北海道小学校長会教育研究日高大会への参加及び提言発表

- ① 期 日 平成26年9月12日（金）～13日（土）

- ② 開催地 新冠町・新ひだか町

③ 活動概要

本市校長会から23名参加。13の分科会での討議を通して研修を深めた。とりわけ、第13分科会「キャリア教育」においては、研究法制部内の提言プロジェクトチームを代表して末広北小学校 林 邦子校長が提言発表を行った。キャリア教育を推進していく上で、校長が指導性を発揮する視点や果たすべき役割と校長の指導の在り方等について、参会者から高い評価を得ることができた。

(5) 研究紀要発刊

今日的教育課題及び学校経営に対する共通理解を図り、会員の職能向上に役立てる各部、各地区、各研修会等における研究の成果を集約し、研究紀要を発刊した。

4. おわりに

- (1) 上川管内校長教育研究大会については、今年度から4分科会になり、2年目になる研究主題と研究の視点に基づいて活発な研究協議が行われ、校長の役割等について研修を深めることができた。また、旭川市校長法制研修会については、会員のアンケートから今日的な課題を設定し、その解決に向け、研修を深めることができた。
- (2) 道小日高大会の提言の取組は、プロジェクトチームが大きな力を発揮し、全道に旭川市の取組を発信することができた。次年度の十勝大会も第13分科会「キャリア教育」の提言があり、今年度の組織的な提言の取組方法を継承して行く必要がある。